



車内の金城学院大学

60限目

「現代子ども学概論」

「子育ては、親育ち？」

〔子育て支援〕

「母性本能」という言葉が、女性の持つ特別な本能として使われることがあります。実は母性本能は学術的には認められておらず、小さく弱い存在を守り育ててあげたいと思う本能は、女性にも男性にも備わっています。しかし、この本能があるからといって、誰でもすぐに子育てができるわけではありません。子育てとは、女性も男性も関係なく、周囲の人の子育てを見たり手伝ったり、実際に子どもを育てていくことを通して学んでいくもの。決してはじめからうまくいくものでもなく、ましてや「正解」もないのです。しかし「ママになったのだから、完璧に子育てをしなくては」とプレッシャーを感じ、ひとり奮闘している母親たちも少なくありません。子どもと親は共に少しずつ成長していくものであり、家族や近隣で子育て中の親子を見守り、育てていくことが大切なのです。

子どもの幸せを願い、健やかな成長を支援する。それが人間科学部 現代子ども学科。

強く、優しく。



金城学院大学